

A04 2024 年、世界の石油開発の動きを俯瞰する

A bird's-eye view of global oil development trends in 2024

（エネルギー・金属鉱物資源機構）○伊原 賢（いはら まさる）

Oil & Gas Journal(OGJ)の年次評価では、2024 年の世界の石油生産量(原油、コンデンセート、NGL)を 9,595 万バレル/日(b/d)とした。2023 年の 9,516 万バレル/日を上回った。2024 年の OPEC の石油供給量は 3,206 万バレル/日(原油 2,721 万バレル/日)と、2023 年よりわずかに減少した。サウジアラビアの石油供給量は、生産削減を反映して 4%減少し、1,057 万バレル/日であった。イランの石油供給量は、新しい油田の生産と輸出の好調により、2024 年に 10%増加し 437 万バレル/日であった。

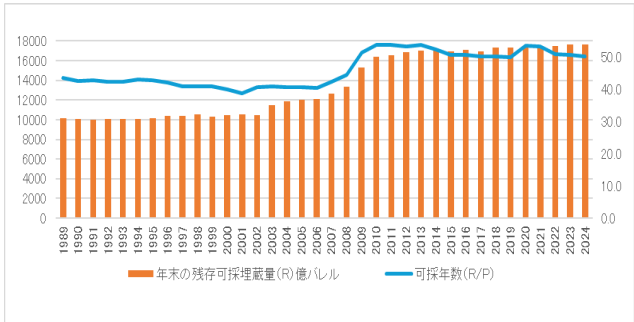
2024 年、非 OPEC からの供給は 1%(79 万バレル/日)増加し、合計で 6,388 万バレル/日であった。増加の大部分は米国、ブラジル、ガイアナ、カナダが占めた。米国は 4%の増加でこの成長を牽引し、2,020 万バレル/日という産出量の新記録を達成した。米国のシェールオイル事業者は掘削効率を高め、コストを削減したため、以前よりも高い成長率につながり、900 万バレル/日弱の産出量となった。ブラジルの石油生産量は、新規施設の生産量が従来油田の減退を相殺するため、2024 年は 2023 年の水準から横ばいの 345 万バレル/日であった。南米ガイアナからの供給量は、エクソンモービルが率いるコンソーシアムの支援を受け、2024 年には 50%以上増加して 61 万バレル/日に達した。カナダの石油供給は 2024 年 585 万バレル/日であり、2023 年より 4%増加した。2024 年と来 2025 年の成長は、2024 年 5 月に商業サービスを開始したトランスマウンテン拡張(TMX)パイプラインの輸送能力の増加によって支えられている。

ロシアの石油生産量は、2024 年 1,062 万バレル/日と、前年の 1,088 万バレル/日から 2%減少した。中央アジアのカザフスタンとアゼルバイジャンの石油生産量は、2024 年にそれぞれ 1%と 4%減少し、194 万バレル/日と 59 万バレル/日であった。アジア太平洋地域の石油生産量は、2024 年に 1%の増加の 728 万バレル/日にとどまった。

中国の石油生産量は、引き続き堅調な資本投資が続くことにより、2024 年には 2%増加して 428 万バレル/日となった。中国海洋石油総公司(CNOOC)は 2024 年、5つのプロジェクトから最初の石油を生産し、ピーク時の生産量は合計 8 万バレル/日となる見込みである。オーストラリアの生産量は 2024 年 1%減少し 38 万バレル/日であった。インドネシアの生産量は、投資と新規プロジェクトの不足を反映して引き続き減少し 60 万バレル/日となった。

2024 年末までに、世界の石油の確認埋蔵量は 1 兆 7,652 億バレルと推定され、前年の 1 兆 7,611 億バレルからわずかに増加した(図 1)。公表されている埋蔵量の数値は、各国が発表する調査の回答や公式の最新情報に依存しており、多くの場合、毎年提供されるわけではない。OGJ は、変更が適切であるという証拠を受け取った場合にのみ、国の見積もりを変更している。したがって、年ごとの変化(またはその欠如)が、必ずしも暦年のみに適用される変化を反映しているとは限らないことに留意する必要がある。OGJ の石油埋蔵量と生産量の数値には、天然ガス液(NGL)が含まれる。原油データがメートルトンで報告される場合、OGJ では、国際エネルギー機関 IEA が各国の推奨する換算係数を用いて、データをバレル(bbl=159 リットル)に換算している。

残存可採埋蔵量や産油量は徐々ながらともに増加基調にあり、石油の寿命(残存可採埋蔵量/年供給量)は、あと 40~50 年といった状況が少なくとも過去 36 年は続いていることが分かる(図 1)。この事実を念頭に、世界はエネルギー安全保障と脱炭素のバランスを肅々ととっていくと思われる。



石油＝原油＋天然ガス液(NGL) 原油と天然ガス液の生産割合は約 9:1 で推移  
年間平均産油量 291 億バレル(1990 年～2024 年)  
2010 年末の累計総生産量 1.17 兆バレル  
2024 年末の累計総生産量 1.95 兆バレル  
出所:BP 統計(2022 年 6 月)、OGJ(2024 年 12 月号)に基づき作成

図 1 世界の石油残存可採埋蔵量と可採年数の推移  
(1989 年末～2024 年末)

了